



横浜市中区

地域活動に役立つ!

デジタル活用講座



デジタルツールの活用支援講座を実施します。

身近なアプリ「LINE」やSNSを活用した情報共有、

電子回覧版や自治会費集金の電子化など

幅広い世代が参加しやすい地域活動の手法を紹介します。



YouTube

X TikTok etc...

●日時：令和7年2月28日(金) 18時30分～20時

●会場：中区役所7階 701～704 会議室

●定員：100名

●参加費：無料(予約不要、先着順)

※オンライン配信会場：中本牧コミュニティハウス2階
(定員50人、先着順)



プログラム

第1部

講演 自治会町内会・地域団体の活動にデジタルを活用～情報発信や組織運営にいかそう!
「LINE」の活用方法を中心に、具体的に身近なデジタル活用の事例や、若い世代に興味をもってもらえる発信方法を紹介します。

講師 杉浦裕樹(NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 代表理事)

2003年にまちづくりとデジタル活用をテーマにNPOを立ち上げ、学びと連携の場づくりや、地域情報の編集・配信事業、コミュニティスペースの運営事業などを行っている。
中区・関内地区で町内会や老人クラブ等の地域活動の実践もしている。

第2部

座談会 デジタル活用の実践者などから、自治会町内会・地域活動団体のデジタル活用のポイント、メリット・デメリット、導入のきっかけや活用事例、質問への回答などを座談会形式で実施します。

登壇者
(予定)
●青山 誠氏(本牧大鳥自治会副会長)
●中野 義男氏(山元町3・4・5丁目町内会庶務・広報部長)
●梁田 理恵子氏(中区民生委員児童委員協議会会長)
◎聞き手：杉浦 裕樹

支援ツールの紹介

横浜コミュニティデザイン・ラボの地域支援の取組や「なかく街の先生」の紹介、中区「アドバイザー等派遣事業」の活用方法を案内します。

詳細はこちら

